

古文「最高敬語」の識別 100題ドリル

対象：高校生・大学受験生 | 著作権：誰でも古典塾 (kotennosensei.com) 無断転載禁止

はじめに

「最高敬語」は、天皇・中宮・上皇など**最高位の人物だけ**に使う最上級の尊敬表現です。入試では「**させたまふ**」を中心に、**二重尊敬（最高敬語）なのか、使役+尊敬なのか**を見分けさせる設問が定番です。

このドリルでは、傍線部を次の**5タイプ（ア～オ）**に分類します。

| 記号 | 種類 | 形・代表例 | 最高敬語？ |
|----|-----------|--------------------------|--------|
| ア | 二重尊敬 | せ給ふ・させ給ふ・しめ給ふ | ○ 最高敬語 |
| イ | 単体の最高敬語 | おはします・きこしめす・おぼしめす | ○ 最高敬語 |
| ウ | 使役+尊敬 | (人) に～せ給ふ／させ給ふ | × ちがう |
| エ | 二方面敬語 | 申し給ふ・聞こえ給ふ・奉り給ふ | × ちがう |
| オ | その他の普通の敬語 | 給ふ・おはす・のたまふ・申す・侍り 等 (単体) | × ちがう |

鉄則：「**せ給ふ・させ給ふ**」を見たら、まず〈**使役の対象「(人)に」があるか**〉を探す。→ **なければ二重尊敬＝最高敬語（ア）／あれば使役+尊敬＝最高敬語ではない（ウ）**。

🎯 解き方のコツ

- 「**させ給ふ・せ給ふ・しめ給ふ**」… 使役の対象（～に）がなければ**最高敬語（ア）**。「す・さす・しむ」は使役ではなく**尊敬**で取る。
- 「**おはします・きこしめす・おぼしめす**」… 見た瞬間に**最高敬語（イ）**。語形を丸暗記するのが最強。
- 「**(人)に+～せ給ふ／させ給ふ**」… 使役+尊敬（ウ）。「家来に～させなさる」。最高敬語ではない。
- 「**申し・聞こえ・奉り・啓し・奏し+給ふ**」… 二方面敬語（エ）。前半が**謙讓語**なので、受け手にも敬意がいく。最高敬語ではない。
- 「**給ふ／おはす／のたまふ／思す**」など**単体**… 普通の尊敬語（オ）。一段ふつうの敬意。

採点表

| 部 | 問題 | 目標 |
|--------|----------|-------|
| 第1部 基礎 | Q1～Q20 | 18／20 |
| 第2部 標準 | Q21～Q50 | 24／30 |
| 第3部 応用 | Q51～Q80 | 22／30 |
| 第4部 入試 | Q81～Q100 | 14／20 |

【第1部】基礎（Q1～Q20）

Q1. 次の傍線部「立たせ給ふ」は、ア～オのどれか。

> 帝、御前に**立たせ給ふ**。

Q2. 次の傍線部「おはします」は、ア～オのどれか。

> 帝、清涼殿にお**はします**。

Q3. 次の傍線部「笑ひ給ふ」は、ア～オのどれか。

> 大臣、いとをかすと**笑ひ給ふ**。

Q4. 次の傍線部「入らせ給ふ」は、ア～オのどれか。

> 上皇、御車に入**らせ給ふ**。

Q5. 次の傍線部「きこしめす」は、ア～オのどれか。

> 帝、楽の音を**きこしめす**。

Q6. 次の傍線部「申し給ふ」は、ア～オのどれか。

▶ 中納言、帝に事の由を申し給ふ。

Q7. 次の傍線部「渡らせ給ふ」は、ア～オのどれか。

▶ 中宮、御堂に渡らせ給ふ。

Q8. 次の傍線部「おはす」は、ア～オのどれか。

▶ 姫君、こなたにおはす。

Q9. 次の傍線部「おぼしめす」は、ア～オのどれか。

▶ 帝、あはれとおぼしめす。

Q10. 次の傍線部「御覧ぜさせ給ふ」は、ア～オのどれか。

▶ 帝、めづらしき絵を御覧ぜさせ給ふ。

Q11. 次の傍線部「のたまふ」は、ア～オのどれか。

▶ 大将、かくなむのたまふ。

Q12. 次の傍線部「聞こえ給ふ」は、ア～オのどれか。

▶ 女御、帝に聞こえ給ふ。

Q13. 次の傍線部「出でさせ給ふ」は、ア～オのどれか。

▶ 上皇、南殿に出でさせ給ふ。

Q14. 次の傍線部「思す」は、ア～オのどれか。

▶ 大臣、心苦しと思す。

Q15. 次の傍線部「帰らせ給ふ」は、ア～オのどれか。

▶ 中宮、里に帰らせ給ふ。

Q16. 次の傍線部「奉り給ふ」は、ア～オのどれか。

▶ 姫、宮に御文を奉り給ふ。

Q17. 次の傍線部「聞かせ給ふ」は、ア～オのどれか。

▶ 中宮、おもしろき物語を聞かせ給ふ。

Q18. 次の傍線部「召す」は、ア～オのどれか。

▶ 大臣、人を召す。

Q19. 次の傍線部「おはしまして」は、ア～オのどれか。

▶ 帝、行幸しておはしまして、御覧ず。

Q20. 次の傍線部「仰せられさせ給ふ」は、ア～オのどれか。

▶ 帝、近き人々に、かく仰せられさせ給ふ。

【第2部】標準 (Q21～Q50)

解答：

Q21. 次の傍線部「詠ませ給ふ」は、ア～オのどれか。

▶ 帝、女房に歌を詠ませ給ふ。

Q22. 次の傍線部「のぼらせ給ふ」は、ア～オのどれか。

▶ 上皇、御階をのぼらせ給ふ。

Q23. 次の傍線部「啓し給ふ」は、ア～オのどれか。

▶ 大納言、中宮に啓し給ふ。

Q24. 次の傍線部「おぼしめして」は、ア～オのどれか。

▶ 帝、いとほしとおぼしめして、御涙を流す。

Q25. 次の傍線部「書かせ給ふ」は、ア～オのどれか。

▶ 帝、臣下に詔を書かせ給ふ。

Q26. 次の傍線部「下りさせ給ふ」は、ア～オのどれか。

▶ 上皇、御輿より下りさせ給ふ。

Q27. 次の傍線部「奏し給ふ」は、ア～オのどれか。

▶ 大臣、帝に奏し給ふ。

Q28. 次の傍線部「大殿籠らせ給ふ」は、ア～オのどれか。

▶ 帝、夜更けて大殿籠らせ給ふ。

Q29. 次の傍線部「おはしませば」は、ア～オのどれか。

▶ 帝、御簾の内におはしませば、人々かしこまる。

Q30. 次の傍線部「弾かせ給ふ」は、ア～オのどれか。

▶ 帝、楽人に琵琶を弾かせ給ふ。

Q31. 次の傍線部「笑はせ給ふ」は、ア～オのどれか。

▶ 中宮、をかしと笑はせ給ふ。

Q32. 次の傍線部「参らせ給ふ」は、ア～オのどれか。

▶ 大臣、宮に御琴を参らせ給ふ。

Q33. 次の傍線部「きこしめさず」は、ア～オのどれか。

▶ 帝、御菓をもきこしめさず。

Q34. 次の傍線部「**講ぜさせ給ふ**」は、ア～オのどれか。

▶ 帝、博士に書を**講ぜさせ給ふ**。

Q35. 次の傍線部「**泣かせ給ふ**」は、ア～オのどれか。

▶ 上皇、昔を思ひ出でて**泣かせ給ふ**。

Q36. 次の傍線部「**おはす**」は、ア～オのどれか。

▶ 中將、ただ今こそ**おはす**れ。

Q37. 次の傍線部「**仕うまつり給ふ**」は、ア～オのどれか。

▶ 上達部、帝に**仕うまつり給ふ**。

Q38. 次の傍線部「**起きさせ給ふ**」は、ア～オのどれか。

▶ 帝、夜深く**起きさせ給ふ**。

Q39. 次の傍線部「**おぼしめしけり**」は、ア～オのどれか。

▶ 帝、心にくしと**おぼしめしけり**。

Q40. 次の傍線部「**調ぜさせ給ふ**」は、ア～オのどれか。

▶ 帝、医師に**御薬を調ぜさせ給ふ**。

Q41. 次の傍線部「隠れさせ給ふ」は、ア～オのどれか。

▶ 帝、其の年の冬、つひに**隠れさせ給ふ**。

Q42. 次の傍線部「弾かせ給ふ」は、ア～オのどれか。

▶ 中宮、女に**琴を弾かせ給ふ**。

Q43. 次の傍線部「聞こえ給ふ」は、ア～オのどれか。

▶ 女御、帝に**御消息を聞こえ給ふ**。

Q44. 次の傍線部「来させ給ふ」は、ア～オのどれか。

▶ 上皇、にはかに**当院に来させ給ふ**。

Q45. 次の傍線部「召す」は、ア～オのどれか。

▶ 帝、**笛の上手を召す**。

Q46. 次の傍線部「立ち出でさせ給ふ」は、ア～オのどれか。

▶ 帝、**御前に立ち出でさせ給ふ**。

Q47. 次の傍線部「奉り給ふ」は、ア～オのどれか。

▶ 后、帝に**御果物を奉り給ふ**。

Q48. 次の傍線部「思ひ給ふる」は、ア～オのどれか。

▶ 「うれしく**思ひ給ふる**」と、申す。

Q49. 次の傍線部「行はせ給ふ」は、ア～オのどれか。

▶ 帝、御遊びを**行はせ給ふ**。

Q50. 次の傍線部「申し給ふ」は、ア～オのどれか。

▶ 大納言、中宮に**申し給ふ**。

【第3部】 応用 (Q51～Q80)

解答：

Q51. 次の傍線部「吹かせ給ふ」は、ア～オのどれか。

▶ 帝、みづから**笛を吹かせ給ふ**。

Q52. 次の傍線部「ともさせ給ふ」は、ア～オのどれか。

▶ 帝、女房に**灯火をともさせ給ふ**。

Q53. 次の傍線部「思ひ給へて」は、ア～オのどれか。

▶ 「あはれと**思ひ給へて**」と、聞こゆ。

Q54. 次の傍線部「おはしまさず」は、ア～オのどれか。

▶ 帝、内裏には**おはしまさず**。

Q55. 次の傍線部「申す」は、ア～オのどれか。

▶ 大臣、帝に物を申す。

Q56. 次の傍線部「乗らせ給ふ」は、ア～オのどれか。

▶ 上皇、御輿に乗らせ給ふ。

Q57. 次の傍線部「詠ませ給ひて」は、ア～オのどれか。

▶ 帝、人々に歌を詠ませ給ひて、優劣を定む。

Q58. 次の傍線部「きこしめして」は、ア～オのどれか。

▶ 帝、雅楽をきこしめして、感ぜさせ給ふ。

Q59. 次の傍線部「下ろさせ給ふ」は、ア～オのどれか。

▶ 帝、女房に御格子を下ろさせ給ふ。

Q60. 次の傍線部「啓し給ふ」は、ア～オのどれか。

▶ 大夫、東宮に啓し給ふ。

Q61. 次の傍線部「思し召しければ」は、ア～オのどれか。

▶ 帝、本意なしと思し召しければ、許さず。

Q62. 次の傍線部「御覧ず」は、ア～オのどれか。

▶ 帝、紅葉を御覧ず。

Q63. 次の傍線部「出家せさせ給ふ」は、ア～オのどれか。

▶ 上皇、つひに出家せさせ給ふ。

Q64. 次の傍線部「書かせ給ふ」は、ア～オのどれか。

▶ 殿、姫君に手本を書かせ給ふ。

Q65. 次の傍線部「さぶらふ」は、ア～オのどれか。

▶ 「ここにさぶらふ」と申す。

Q66. 次の傍線部「大殿籠りて」は、ア～オのどれか。

▶ 君、昼つ方より大殿籠りて、起きず。

Q67. 次の傍線部「流させ給ふ」は、ア～オのどれか。

▶ 帝、御涙を流させ給ふ。

Q68. 次の傍線部「奉り給ふ」は、ア～オのどれか。

▶ 女御、帝に御琴を奉り給ふ。

Q69. 次の傍線部「狩りせさせ給ふ」は、ア～オのどれか。

▶ 帝、男どもに鷹狩りせさせ給ふ。

Q70. 次の傍線部「おはしましけり」は、ア～オのどれか。

▶ 昔、男、東山におはしましけり。

Q71. 次の傍線部「見給ふる」は、ア～オのどれか。

▶ 「夢にも見給ふるかな」と聞こゆ。

Q72. 次の傍線部「御覧ぜさせ給ふ」は、ア～オのどれか。

▶ 帝、相撲を御覧ぜさせ給ふ。

Q73. 次の傍線部「参り給ふ」は、ア～オのどれか。

▶ 后、内裏に参り給ふ。

Q74. 次の傍線部「きこしめす」は、ア～オのどれか。

▶ 帝、政（まつりごと）をきこしめす。

Q75. 次の傍線部「作らせ給ふ」は、ア～オのどれか。

▶ 帝、上達部に詩を作らせ給ふ。

Q76. 次の傍線部「渡らせ給ふ」は、ア～オのどれか。

▶ 法皇、御堂に渡らせ給ふ。

Q77. 次の傍線部「申し給へば」は、ア～オのどれか。

▶ 大納言、帝に申し給へば、うなづく。

Q78. 次の傍線部「起きさせ給ふ」は、ア～オのどれか。

▶ 帝、夜もすがら起きさせ給ふ。

Q79. 次の傍線部「御物語せさせ給ふ」は、ア～オのどれか。

▶ 帝、昔の事を御物語せさせ給ふ。

Q80. 次の傍線部「聞こえ給ふ」は、ア～オのどれか。

▶ 大臣、帝に御消息を聞こえ給ふ。

【第4部】入試 (Q81～Q100)

解答：

Q81. 次の傍線部「おぼしめす」は、ア～オのどれか。

▶ 帝、月を御覧じて、来し方をあはれにおぼしめす。

Q82. 次の傍線部「笑はせ給ふ」は、ア～オのどれか。

▶ 中宮、女房の言葉を聞いて、いとをかしと笑はせ給ふ。

Q83. 次の傍線部「こもらせ給ふ」は、ア～オのどれか。

▶ 上皇、位を下りさせ給ひて後、御寺にこもらせ給ふ。

Q84. 次の傍線部「奏し給ふ」は、ア～オのどれか。

▶ 大臣、事の由を詳しく帝に奏し給ふ。

Q85. 次の傍線部「吹かせ給ふ」は、ア～オのどれか。

▶ 帝、楽人どもに笛を吹かせ給ふ。

Q86. 次の傍線部「きこしめす」は、ア～オのどれか。

▶ 法皇、御堂におはしまして、夜もすがら御念仏をきこしめす。

Q87. 次の傍線部「参り給ひ」は、ア～オのどれか。

▶ 女御、帝の御前に参り給ひて、御琴を弾き給ふ。

Q88. 次の傍線部「大殿籠らせ給ひ」は、ア～オのどれか。

▶ 帝、いたく酔はせ給ひて、その夜は大殿籠らせ給ひぬ。

Q89. 次の傍線部「討たせ給ふ」は、ア～オのどれか。

▶ 上皇、北面の武士に命じて、賊を討たせ給ふ。

Q90. 次の傍線部「書かせ給ふ」は、ア～オのどれか。

> 中宮、御手づから、その歌を色紙に書かせ給ふ。

Q91. 次の傍線部「おはしまして」は、ア～オのどれか。

> 帝、御簾の内におはしまして、人々の物語をきこしめす。

Q92. 次の傍線部「申し給ふ」は、ア～オのどれか。

> 大納言、帝に申し給ふやう、「しかしかの事ぞ」と。

Q93. 次の傍線部「おぼしめしけり」は、ア～オのどれか。

> 帝、絵を御覧じて、いみじき上手なりとおぼしめしけり。

Q94. 次の傍線部「寄せさせ給ふ」は、ア～オのどれか。

> 上皇、舎人に御車を寄せさせ給ふ。

Q95. 次の傍線部「起きさせ給ひ」は、ア～オのどれか。

> 帝、夜更くるまで起きさせ給ひて、文をぞ作らせ給ふ。

Q96. 次の傍線部「聞こえ給ふ」は、ア～オのどれか。

> 後の宮、帝に御文を聞こえ給ふ。

Q97. 次の傍線部「折らせ給ふ」は、ア～オのどれか。

> 帝、御手づから紅葉を折らせ給ふ。

Q98. 次の傍線部「啓し給ふ」は、ア～オのどれか。

> 僧都、東宮に経の事を啓し給ふ。

Q99. 次の傍線部「おはしまさで」は、ア～オのどれか。

> 帝、久しく内裏におはしまさで、世の人嘆く。

Q100. 次の傍線部「譲らせ給ひ」は、ア～オのどれか。

> 上皇、御位を皇子に譲らせ給ひて、仙洞におはします。

採点・振り返り

| 部 | 点数 |
|-------------------|------|
| 第1部 基礎 (Q1～Q20) | ／20 |
| 第2部 標準 (Q21～Q50) | ／30 |
| 第3部 応用 (Q51～Q80) | ／30 |
| 第4部 入試 (Q81～Q100) | ／20 |
| 合計 | ／100 |

復習のポイント - ア (二重尊敬) とウ (使役+尊敬) の取りちがえが最頻出のミス。「せ給ふ・させ給ふ」を見たら、「(人)に」という使役の対象を探すクセをつけよう。なければ最高敬語、あれば使役+尊敬。 - エ (二方面敬語) は前半が謙譲語 (申し・聞こえ・奉り・啓し・奏し・参り)。「給ふ」が付いても最高敬語ではない。 - 「おはします・きこしめす・おぼしめす」は単体で最高敬語 (イ)。語形を丸暗記。 - 下二段の「給ふ」(給へ／給ふる／給ふれ) は謙譲・丁寧で、そもそも尊敬ではない。最高敬語と無関係。

解答：

